

教科	社会	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の調査のしかた	2	<p>“場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身につける。</p> <p>(1) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解できる。</p> <p>(2) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につける。</p> <p>(3) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現できる。”</p>	<p>地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。</p>	<p>対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ、それらを多面的・多角的に調査、考察している。</p>	<p>対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。</p>

<p>日本の地域的特色</p>	<p>9 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信の項目」を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。</p> <p>(1) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどをもとに、日本の自然環境に関する特色を理解できる。</p> <p>(2) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などをもとに、日本の人口に関する特色を理解できる。</p> <p>(3) 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などをもとに、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解できる。</p> <p>(4) 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送等の物流や人の往来などをもとに国内各地の結びつきや日本と世界との結びつきの特色を理解できる。</p> <p>(5) 各項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解できる。</p> <p>(6) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料をもとに地域区分をする技能を身につける。</p> <p>(7) 各項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>(8) 日本の地域的特色を、各項目に基づく</p>	<p>日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、気温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。</p>	<p>日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。</p>
-----------------	--	--	---	---

<p>九州地方</p>	<p>5</p> <p>“自然環境を中核とした考察のしかたをもとにして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (2) 自然環境を中核とした考察のしかたで取り上げた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解できる。 (3) 九州地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、ほかの事象やそこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究でき</p>	<p>九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特徴を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、それらの課題を理解している。</p>	<p>九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結びつき、地域の課題などと有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>中国・四国地方</p>	<p>5</p> <p>“交通や通信を中核とした考察のしかたをもとにして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (2) 交通や通信を中核とした考察のしかたで取り上げた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解できる。 (3) 中国・四国地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、ほかの事象やそこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究できる。”</p>	<p>地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきの変化と、それに関連する産業や生活の変化や課題について理解している。</p>	<p>中国・四国地方の結びつきの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫や努力などと有機的に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に粘り強く追究しようとしている。</p>

<p>近畿地方</p>	<p>5</p> <p>“環境保全を中核とした考察のしかたをもとにして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (2) 環境保全を中核とした考察のしかたで取りあげた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解できる。 (3) 近畿地方での自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みについて、人口増加や産業の発展のなかでどのように行われてきたのかを考察し、表現できる。 (4) 近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究できる。”</p>	<p>地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全などの特色ある事象を読み取り、近畿地方の地域的特色を理解している。</p>	<p>自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などに関連づけながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の課題を、主体的に追究しようとしている。</p>
<p>中部地方</p>	<p>5</p> <p>“産業を中核とした考察のしかたをもとにして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (2) 産業を中核とした考察のしかたで取り上げた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解できる。 (3) 中部地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、ほかの事象やそこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 中部地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫や努力に関心をもちなが</p>	<p>さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取ることができるとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。</p>	<p>中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫や努力に関心をもちながら、主体的に粘り強く追究しようとしている。</p>

<p>関東地方</p>	<p>5</p>	<p>“人口や都市・村落を中核とした考察のしかたをもとにして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (2) 人口や都市・村落を中核とした考察のしかたで取り上げた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解できる。 (3) 関東地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、ほかの事象やそこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に追究できる。”</p>	<p>関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。</p>	<p>関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結びつき、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に粘り強く追究している。</p>
<p>東北地方</p>	<p>5</p>	<p>生活・文化を中核とした考察のしかたをもとにして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (2) 生活・文化を中核とした考察のしかたで取り上げた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解できる。 (3) 東北地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、ほかの事象やそこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に追究できる。</p>	<p>地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取り、地域的特色や課題について理解している。</p>	<p>東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりとはどのように関わっているのか、多面的・多角的に考察している。</p>	<p>東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に粘り強く追究しようとしている。</p>

<p>北海道地方</p>	<p>5</p>	<p>自然環境を中核とした考察のしかたをもとにして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (2) 自然環境を中核とした考察のしかたで取り上げた特色ある事象と、それに関連するほかの事象や、そこで生ずる課題を理解できる。 (3) 北海道地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、ほかの事象やそこで生ずる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。 (4) 北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫を主体的に追究できる。”</p>	<p>北海道地方の冷涼な気候の特色を理解するとともに、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。</p>	<p>冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結びつきや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連づけて多面的・多角的に考察している。</p>	<p>北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫を、主体的に粘り強く追究しようとしている。</p>
<p>ユーラシアの動きと武家政治の</p>	<p>3</p>	<p>・13世紀ごろの世界では、ユーラシア大陸に広がるモンゴル帝国(元)が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったことを理解する。 ・南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関わりとともに理解する。</p>	<p>元軍の襲来や、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、元軍の襲来がユーラシアの変化の中で起こったことや、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりがみられたことを理解している。</p>	<p>モンゴル帝国(元)の拡大の様子や、武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、この時代の武家政治の動きとその特徴や、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>武家政治の変化と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>結びつく民衆と下剋上の社会</p>	<p>3</p>	<p>・応仁の乱後の社会的な変動や戦国の動乱などから、武家政治の展開について理解する。 ・農業などの諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的なしくみが成立したことを理解するとともに、室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。</p>	<p>農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p>	<p>農業や商工業の発達に着目して、事象を相互に関連づけるなどして、民衆の成長が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

<p>結びつく世界との出会い</p>	<p>4</p>	<p>・14～16世紀のヨーロッパでは、ルネサンスや宗教改革、アジアへの新航路の開拓などの動きが起こり、ヨーロッパ諸国が貿易や布教などを目的に世界各地へ進出していったことを理解する。 ・ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。</p>	<p>ヨーロッパ人来航の背景とその影響などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、それが日本の社会に及ぼした影響について理解している。</p>	<p>交易の広がりとその影響などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、豊かな交易が行われていたアジアにヨーロッパ諸国が進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、それを背景として日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>世界の動きと関連づけながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>天下統一への歩み</p>	<p>2</p>	<p>・織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業や、朝鮮への出兵などの対外関係について捉え、近世社会の基礎がつくられていったことを理解する。 ・海外から南蛮文化などが取り入れられる一方で、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪壮・華麗な文化が生み出されたことに気づく。</p>	<p>織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。</p>	<p>統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、中世社会から近世社会への変化の様子や、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつくられていったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>幕藩体制の確立と「鎖国」</p>	<p>6</p>	<p>・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子を捉え、幕府の政治の特色について考える。 ・江戸幕府により、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。</p>	<p>江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</p>	<p>統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、江戸幕府により全国を支配するしくみがつくられ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

<p>経済の成長と幕政の改革</p>	<p>8</p>	<p>・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについて捉え、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ・貨幣経済の広まりや百姓一揆などの農村の変化、江戸幕府の政治改革について理解するとともに、新しい学問・思想の動きに気づく。</p>	<p>産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりや、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたこと、幕府の政治が次第に行きづまりをみせたことを理解している。</p>	<p>産業の発達と文化の担い手の変化や、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それを背景として百姓一揆が起こったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>産業の発達、教育の普及と文化の広がり、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>近代世界の確立とアジア</p>	<p>5</p>	<p>・欧米諸国が、市民革命や産業革命により近代社会を成立させたことを理解する。 ・近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出したことについて考える。</p>	<p>欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</p>	<p>工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>開国と幕府政治の終わり</p>	<p>3</p>	<p>・社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革について捉え、幕府政治がしだいに行きづまりをみせたことを理解する。 ・幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。</p>	<p>開国とその影響などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、開国によって人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p>	<p>幕府が対外政策を転換して開国したことなどに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、開国が政治や人々の生活に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや、開国の影響と江戸幕府の滅亡について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。</p>

<p>明治維新と立憲国家への歩み</p>	<p>8</p>	<p>・新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の動きについて捉え、明治維新により近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・自由民権運動や大日本帝国憲法の制定について捉え、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。</p>	<p>富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。</p>	<p>明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。</p>
<p>激動する東アジアと日清・日露戦争</p>	<p>6</p>	<p>・条約改正の歩みや日清・日露戦争について捉え、日本の国際的地位が向上したことを、大陸との関係と関わらせて理解する。 ・日清・日露戦争を通じて、日本をとりまく国際関係が変化したことについて考える。</p>	<p>日清・日露戦争、条約改正などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、日本の国際的地位が向上したことを理解している。</p>	<p>議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、日本と世界との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>国際的な視野に立って、日本の国際的地位が向上したことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。</p>
<p>近代の産業と文化の発展</p>	<p>5</p>	<p>・日本でも産業革命が進み、近代産業が発展したことと、それによる社会の変化について理解する。 ・学問・教育・科学・芸術の発展を背景に、近代文化が形成されたことを理解する。</p>	<p>日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。</p>	<p>近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問や教育の発展について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。</p>